



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 14 日

1. 出張国名 モンゴル
2. 出張月 平成 27 年 5 月～6 月
3. 出張目的 放牧密度マップの自立的作成の実践、牧養力関連情報の伝達実態の調査：A

4. 成果の概要

放牧地の効率利用のために作成が望まれる「放牧密度マップ」をソム（郡）行政が自立的かつ経年・継続的に作成できることを確認するため、そのソムによる自立的作成の実践を試みた。対象ソムのマップ作成に必要な ArcGIS ソフトの使用不能等の現況から、実際のマップ作成までには到らなかった。しかし ArcGIS を使った土地利用計画地図作成はソムに求められる実質的な業務であることから、ソムによるマップ作成は可能かつ妥当と判断できた。

牧養力情報の有効な伝達方法／手段を検討するための参考事例とするため、現在 IMHE（気象水文環境局）が全国的に公表している牧養力情報の、ソムの牧民への伝達実態について調査を行った。この結果、情報の公表時期が知られていない、情報を取得するためには牧民側からアプローチしなければならない等の理由から、牧民にほとんど伝わっていないことが明らかとなった。このため、牧養力情報を地方行政機関や牧民に有効に伝達するために、継続／定期的な情報提供と、情報提供側から受け手側への強制的な情報伝達が必要と考えられた。